

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

June 2021 vol.86

June						
S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

いこべ 伊古部海岸

所在地：豊橋市伊古部町

交通：豊橋鉄道渥美線「大清水」駅 南東 約 6km

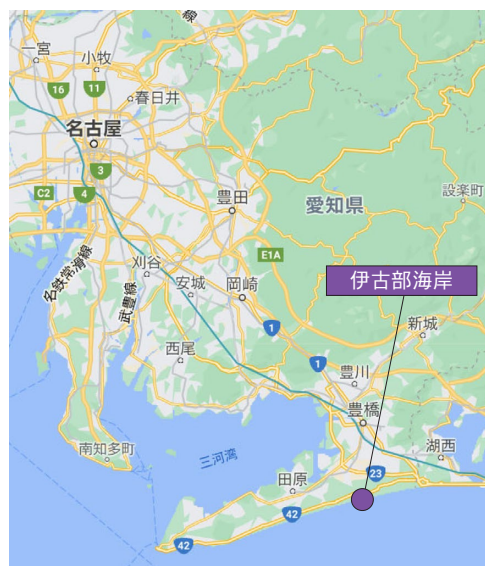
豊橋市の伊古部海岸は、遠州灘沿いに浜名湖から渥美半島の伊良湖岬まで続く、表浜と呼ばれる長大な海岸線の一部で、天気良ければ浜名大橋、田原方面まで見渡すことができます。表浜の象徴的な風景である砂浜と海食崖、海岸林の雄大な風景が広がり、アカウミガメの産卵場所としても貴重な海岸で、夏場は遠方からサーフィンに訪れる人も多いスポットです。どこまでも続く白い砂浜は、NHKの連続テレビ小説「エール」の撮影にも使われました。

砂浜のすぐ背後に迫る海食崖は、海底に砂礫や泥が堆積してできた地層（泥層）が地盤上昇運動によって隆起し、海岸侵食を受けて崖を形成したもので、60m から 70m 程度の高さで連なっています。崖をよく見てみると、西は六連から東は東七根まで、約 10km にわたって泥層が続いていることがわかりますが、伊古部海岸では、この泥層が約 100m の幅で途切れ、植生に覆われた崖になっています。これは、嘉永 7(1854) 年の安政東海地震の際に崩落した跡と言われ、安政東海地震では、表浜に大きな津波が押し寄せただけでなく、強い揺れで海食崖の一部も崩落したと考えられています。

googleearth など
で空中から見てみると、崩落によりひな壇のようになった敷地に豊橋市野外教育



海食崖の崩落箇所 (googleearth に加筆)



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していただくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

センターが建っていることがわかります。幅 100m、高さ 70m の崖が崩れ落ちたとすると、10t ダンプ 5 万台もの大量の土砂が海に流出したことになります。

これを裏付けるように、明治 31 年頃に奉納された伊古部神社の絵馬には、崖の崩落の影響が残る様子が描かれています。



伊古部神社の絵馬（一部加筆）

崩落により、土砂は 800m 沖合まで流れ込んだと言われていますが、伊古部海岸が描かれたこの絵馬には、土砂が流れ込んだ位置に泥層の塊と思われる暗礁が描かれています。また、この暗礁に地引網が引っかかるので、伊古部の漁民たちが、和地（田原の集落）の漁師に頼んで爆破してもらった記録も残されており、崩落した土砂の塊が海に流れ込んでいた事実を示しています。

安政東海地震に関連した史跡としては、すぐ近くのささゆりの里に、震災鎮めの石碑もあります。この場所には、安政東海地震で高さ 29 m もの津波が襲ってきたとの言い伝えがあり、碑は地震から 5 年後の安政 6 年に、地元の網元の方が震災が二度と起きないことを祈って建てたものです。



震災鎮めの石碑

名古屋大学減災連携研究センターの HP では、伊古部海岸とささゆりの里も登場するツアー動画「災と Seeing ツアー東三河編」が公開されています。(http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=17426) ぜひご覧いただき、安政東海地震のイメージを体感してみてください。



◆伊古部海岸の周辺には…

●御厨神社

所在地：豊橋市西七根町

交通：JR 東海道本線「二川」駅 南 約 5.5km

御厨神社は、宝永 4（1707）年宝永地震、嘉永 7（1854）年安政東海地震の際に移転しています。

絵馬は安政東海地震の惨状を伝えるもので、この時、舟が助かったことに感謝して、助かった舟の部材を絵馬にして奉納したものです。



●法蔵寺（馬頭観音）

所在地：豊橋市伊古部町 交通：豊橋鉄道渥美線「大清水」駅 南東 約 5.5km

法蔵寺は海岸侵食や宝永 4（1707）年宝永地震の津波などにより、何度か移転しており、馬頭観音は、津波による村の移転によって置き去りにされていたものを、寺に納めたものといわれています。

◆詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★ささゆりの里と太平洋ビーチハイキング

豊橋鉄道が企画するほの国ハイキングシリーズでは、毎年 6 月上旬にささゆりの里と太平洋ビーチハイキングが開催されます。豊橋鉄道渥美線の杉山駅を出発し、万場調整池（下記参照）から太平洋を一望できる表浜海岸を経て、約 3,000 m に 3,000 株以上のささゆりが植えられたささゆりの里を散策し大清水駅に至る、約 15km を歩くコースです。ささゆりの里から大清水駅まではシャトルバスも運行されます。



豊橋鉄道株式会社 HP より

途中のささゆりの里では、ささゆりの里まつりが開催されており、お茶の無料配布や花苗の販売が行われます。（2021 年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

あいちの農産物

えんどう豆には、グリーンピースなど、豆を食べるえんどうと、スナップエンドウなど、さやごと食べるさやえんどうがあります。



愛知県園芸農産課 HP より

渥美白花絹莢えんどうは、明治時代に歴史を持つ、渥美地域を産地とするあいちの伝統野菜で、鮮やかな緑と新鮮で柔らかな香りが特徴です。旬は 4 月から 6 月頃で、栽培しやすく家庭菜園にも向き、汁物や和え物に利用されます。

●ブレイクタイム●

♪万場調整池

万場調整池は、豊川総合用水事業により造成された、豊川用水の調整池で、低地を掘削して作られた平地ダムです。型式はアスファルトフェイスングフィルダムで、堤体斜面の水に接する部分はアスファルトに覆われています。調整池自体が砂の層の上にあるため、調整池の底には合成ゴムシートが張られた非常に珍しい構造になっています。周囲は遊歩道になっており、北東の一角には野菜や果物をかたどった遊具など、ユニークな遊具が置かれたエリアもあります。



豊橋市 HP より

◆この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaian2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減斎の会・名古屋大学減災連携研究センター 2021 年 6 月）

